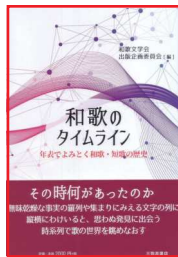


三弥井書店

Miyaishoten



新刊・既刊書籍案内 2023.5 中古文学会特別販売のご案内

価格：小社書籍全点が2割引き 送料：実費

お支払方法 郵便局＊ご注文書お届けの際払い込み用紙同封いたします

銀行振込 三井住友銀行三田通支店 当座 1025041

ご注文方法 メール publish@miyaishoten.co.jp

電話 03-3452-8069

ファックス 03-3456-0346

ホームページからもご注文いただけます

右、QRコードを読み取りください



◇お願い

- 1 公費・私費の区別をお知らせください。
- 2 公費の場合、公文書の宛名、日付の有無、納品・見積・請求書の枚数をお知らせください。
- 3 ご注文の際はいずれかに「中古文学会特別販売分」とご明記ください。
- 4 本カタログ以外の書籍は小社ホームページをご覧ください。
- 5 新刊情報やイベント情報をツイートいたします。よろしかったらフォローしてください。

『源氏物語』の仏教的変容

中世王朝物語『雲隠六帖』試論

咲本英恵 著

A5判・上製・418頁 定価：本体9000円＋税

救われない物語が、中世的思想の中で文学や宗教と融合し救済の物語に変容する。その様相をとおして、『雲隠六帖』に描かれる仏語・仏教思想の背景と作品の深層に迫る。

2023/3/7刊行



目次

- 第一章 『雲隠六帖』の研究史／第二章 雲隠巻の光源氏
- 第三章 『雲隠六帖』の冷泉院／第四章 『雲隠六帖』の紫の上
- 第五章 『雲隠六帖』の浮舟と薫／第六章 雲雀子巻の少将の君
- 第七章 八橋巻の仏教的救済と「六帖の終」

王朝物語の世界

ISBN978-4-8382-3400-4

『竹取』『伊勢』『うつほ』そして『源氏』へ

大井田晴彦 著

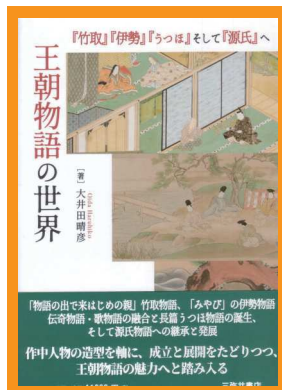
A5判・上製・576頁 定価：本体11000円＋税

「物語の出で来はじめの親」竹取物語、「みやび」の伊勢物語、伝奇物語・歌物語の融合と長篇うつほ物語の誕生、そして源氏物語への継承と発展。作中人物の造型を軸に、成立と展開をたどる。

目次

- 序 物語文学の成立と展開
- 第一篇 竹取物語の世界
 - 第一章 竹取翁とかぐや姫
 - 第二章 五人の求婚者たちと難題
 - 第三章 天と地と一帝とかぐや姫
 - 第四章 竹取物語の和歌
 - (付) 死ぬる命をすくひやはせぬ—竹取物語註釈の補訂—
- 第二篇 伊勢物語の世界
 - 第一章 二条后章段の諸相
 - 第二章 東下り章段の諸相
 - 第三章 有常と敏行
 - 第四章 みやびに生きる女たち
 - 第五章 神域の恋—斎宮章段における王権と禁忌—
 - 第六章 津の国の行平・業平兄弟—伊勢物語の空間—
 - 第七章 惟喬親王章段の主題と方法
 - 第八章 翁章段の位相
- 第三篇 うつほ物語の世界 続
 - 第一章 俊蔭の誕生—小野篁像の投影—
 - 第二章 蔵人少将源仲頼の物語
 - 第三章 三奇人の物語—笑いと諷刺—
 - 第四章 仲忠とあて宮
 - 第五章 うつほ物語の帝
 - 第六章 俊蔭は心ざしもかなひて—うつほ物語から源氏物語へ—
 - 第七章 うつほ物語の生と死
- 第四篇 物語の種々相
 - 第一章 女はらからの物語史
 - 第二章 恋する老女たち
 - 第三章 物語を照らす萤火
 - 第四章 王朝文学における病
- 索引 | I・II・III

2022/8/26刊行



ISBN978-4-8382-3396-0

伊勢物語 現代語訳・索引付

大井田晴彦 校注

A5判・上製・335頁 定価：本体4500円＋税

解説 真珠庵本『百鬼夜行絵巻』の暗号

名倉ミサ子 著

A5判・カバー装 216頁 本体：2900円＋税

京都大徳寺が所蔵し、絵巻の冒頭から青鬼が走りだし、60体余りの躍動感にあふれた妖怪たちが巻末に向かって行進する様子が描きだされる百鬼夜行絵巻。詞書や画中詩がなく、これまで全容の解明むずかしかった真珠庵本を舞楽法会、説話、妖怪に付随する道具、仏教や経典の世界の絵画化、破戒とのかかわり、神事との関係などの視点から、行列が意味するものは何か。カラー図版もまじえて『絵巻』に隠された謎解きを試みる書。

目次 _____

2023/1/30発行

I『百鬼夜行絵巻』に描かれた仏教的要素

- 第一章 真珠庵本『百鬼夜行絵巻』一行列の全貌を俯瞰する
- 第二章 『天狗草紙』との関連性—妖怪退散をめぐる
- 第三章 『百鬼夜行絵巻』の道具から宗派を読む
- 第四章 破戒の経典から几帳と唐櫃の場面を読む

II『百鬼夜行絵巻』にみる僧の世界

- 第五章 黒衣の妖怪と赤い妖怪にみる破戒
- 第六章 鍋と釜—愛欲の表象
- 第七章 妖怪になった小町と和泉式部
- 補論 百鬼夜行絵巻跋文における儒学的受容—歴博本と岩瀬文庫本の場合



ISBN978-4-8382-3398-4

真田家の鷹狩り

二本松泰子 著

A5判・カバー装 276頁 本体：3000円＋税

真田家の鷹狩りを担い、中近世における武家流放鷹文化の主流として鷹術流派の家元に位置した祢津家。一族に伝わる新出の資料群を手がかりに、政治儀礼や外交はもとより文芸や文化的役割をもかねそなえていたという真田家の鷹狩りの実像を明らかにする。カラー図版で中世以降の武家の鷹狩りの作法を記した鷹書を掲載。当時の武士の鷹狩り事情をビジュアル的に紹介するだけでなく、現代の鷹狩りについても合わせて解説する。

目次 _____

2023/1/9発行

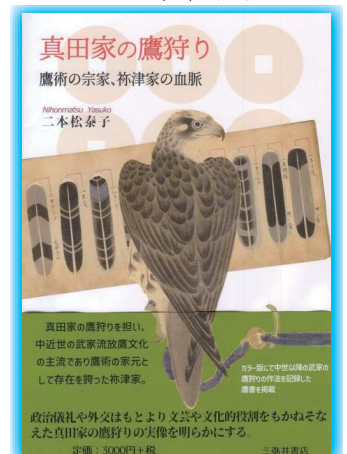
第一編 祢津家の血脈が描く真田家の鷹狩り

- 第一章 真田家を彩る祢津家嫡流の系譜伝承
- 第二章 祢津家嫡流の鷹書
- 第三章 祢津家本家の格式と家芸としての鷹術

第二編 徳川家の鷹狩りと真田家の鷹狩り

- 第一章 鷹の五臓論をめぐる言説の位相
- 第二章 徳川家康愛顧の祢津松鶴軒系の鷹術とそのブランド化

付録 カラー版 絵で知る鷹狩り 図解『鷹絵図之巻』



■中世鷹書の文化伝承 7500円 ■鷹書と鷹術流派の系譜 8990円

ISBN978-4-8382-3399-1

和歌のタイムライン

年表でよみとく和歌・短歌の歴史

和歌文学会出版企画委員会[編] B5判・カバー装 156頁 定価：本体2000円＋税
和歌史を、記紀歌謡から万葉集へ切り替わる時代から上代・中古・中世・近世・近現代という区切りで戦後短歌の時代までを年表形式でまとめる。項目に一般事項を設け、日本史的・世界史的に起こった事柄も加え、和歌史と政治・経済社会及び美術・音楽などの諸芸能などの動きも同時に理解できるよう工夫する。

2021/11/18

目次

はじめに 和歌の年表を読む楽しみとは

◆上代◆

和歌史の始発 記紀歌謡・万葉集第一期・歌謡から和歌へ

柿本人麻呂と宮廷歌の時代 万葉集第二期・宮廷を彩る和歌

平城京と大宰府の文雅 万葉集第三期・宮廷文化の隆盛と個性の開花

大伴家持と万葉歌の終焉 万葉集第四期・聖武朝後期から孝謙・淳仁朝へ

万葉集・その後 万葉集の生成と和歌史の空白時代

◆中古◆

王朝の和歌 和歌の再興と発展

三代集の時代 古今的美意識の成立と展開

一条天皇の時代 王朝文学 百花繚乱

院政期と和歌 古代後期の終焉と中世和歌の萌芽

◆中世◆

中世の開幕 新古今和歌集と新勅撰和歌集の時代

中世の展開 後醍醐院の時代から南北朝の時代へ

室町時代前期の和歌 武家と和歌と連歌と

室町時代後期の和歌 広がる和歌 — 京から地方へ —

◆近世◆

江戸前期 幕初から元禄まで

江戸中期 宝永から天明まで

江戸後期 寛政から慶応まで

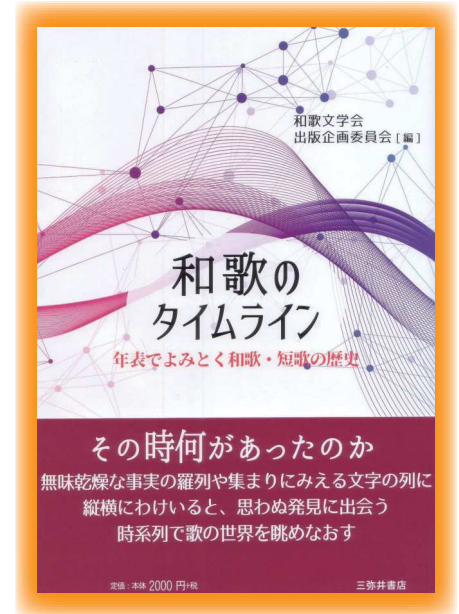
◆近・現代◆

明治維新から 和歌から短歌へ

大正時代 近代の熟成

昭和I 革新と回帰

昭和II 戦後短歌の展開



ISBN978-4-8382-3389-2

新古今増抄 1～7 7200～12000円
増基法師『いほぬし』注解 8500円
聖なる声—和歌にひそむ力 3000円
『曾禰好忠集』注解 13000円
藤原俊成—思索する歌びと 6400円
日本の書と紙—古筆手鏡「かたばみ帖」の世界 2800円
百人一首宗祇抄 1200円

歌論歌学集成 各7200円
4 袖中抄(上) 5 袖中抄(下)
7 古来風体抄・無名抄・西行上人談抄・後鳥羽院御口伝
10 為兼卿和歌抄 他・井蛙抄・愚問賢注・近來風体
11 耕雲口伝・二言抄・落書露頭・正徹物語 他
12 東野州聞書・兼載雑談
14 資慶卿口授・和歌聞書・等義聞書
15 麓木抄・詞林拾葉・烏丸光榮卿口授
16 清水宗川聞書・梨本集・用心私記

オンデマンド重版出来！！

三国伝記(上)・(下) A5/上製本・各定価：本体8500円+税

雑談集 A5/上製本・定価：本体8500円+税

地蔵菩薩靈驗記(上)・(下) A5/上製本・上定価：本体13000円+税
下定価：本体15000円+税

三弥井書店

カタログ以外の書籍も
全点2割引き
ホームページを御確認ください

医談抄 伝承文学注釈叢書 4

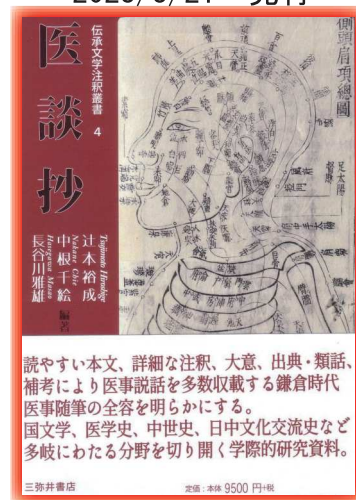
辻本裕成・中根千絵・長谷川雅雄 編著 A5判・422頁 定価：本体9500円＋税

医事説話を多数収載する鎌倉時代の医事随筆の全容を、読みやすい本文、詳細な注釈、大意、出典・類話、補考により明らかにする。国文学、医学史、中世史、日中文化交流史など多岐にわたる分野を網羅した学際的資料集。

2023/3/21 発行

医談抄上 脈法 鍼灸 薬療
注釈

- 一 診脈難察事／二 上古診脈証験事／三 針石起事／
- 四 針殺生人事／五 上古針術験事／六 火針事／七 灸起事／
- 八 療不如灸事／九 灸時剋事／一〇 追日可灸事／
- 一一 脚気灸事／一二 灸有補写事／一三 灸不爛事／
- 一四 阿是灸事／一五 孔穴寸法事／一六 艾炷事／
- 一七 灸鳴走事／一八 壯数事／一九 本薬療事／
- 二〇 寒熱対治事／二一 合薬事／二二 諸薬探貯事／
- 二三 諸薬試験事／二四 毒薬依人事／二五 根茎花実可異事／
- 二六 薬名不分別事／二七 毒物為薬事



ISBN978-4-8382-3403-5

医談抄下 雑言
注釈

- 二八 慈悲救療事／二九 名利責事／三〇 医可正直事／三一 傍医嫉妬事／三二 可信医教事／
- 三三 医者意也事／三四 非其人不伝事／三五 可賞医道事／三六 良医失事／三七 貴人療治事／
- 三八 練習功事／三九 不任本説事／四〇 当座才智事／四一 医術色代事／四二 伝屍癩病不可治事／
- 四三 邪気事／四四 淫欲病事／四五 色欲過度事／四六 末代病深重事／四七 前世余福事／
- 四八 大怒病差事／四九 悸愈病事／五〇 疑病事／五一 小食人寿老事／五二 大食病事／
- 五三 飲酒病事／五四 上戸下戸事／五五 鱈不可食事／五六 異疾事／五七 風呂事／
- 五八 温泉事／五九 丹家有霊事

『医談抄』解題

大和言葉集 徳田和夫・菊地仁・小林健二 編著

A5判・242頁 定価：本体7500円＋税

恋の文句や、宮中の女房詞をいう大和言葉。お伽草子や、説経浄瑠璃などに用例を多く見る。解説とお伽草子・語り物に見る大和言葉・謎かけの事例集を掲げ、代表的な一本を翻刻し、注釈を付す。

豊後節系浄瑠璃集 安田文吉・安田徳子 校注

A5判・242頁 定価：本体7500円＋税

底本には最古本を選び、翻刻本文は詞章のみならず、ルビ・文字譜等可能な限り原本の再現を試みる。注釈は音楽性の高い本資料を鑑み、語句および語り口や曲節・文字譜について施す。

予章記 佐伯真一・山内譲 校注

A5判・266頁 定価：本体5800円＋税

伊予の『古事記』であり、『平家物語』であり、そして室町の現代史である。伊予中世史研究の基本文献。記紀的神話伝承や文書・文献の引用、創作などが混然一体となった河野氏の歴史叙述の方法に伝承の可能性を見出す。



震災を語り継ぐ 関東大震災の記録と東日本大震災の記憶

石井正己著 A5判・カバー装 312頁 定価：本体2800円＋税

昔話・民話・伝説は記憶を風化させないためにいかに作用したのか。震災の後、学校教育の中で記された、署名入りの作文などから、哀話や美談ではなく、当時の状況や心情が表す記録から、未来への方法と意義。

目次

- I 震災・復興と福島・岩手・宮城——民話の力
 - 1 原発事故と昔話 / 2 地域の言葉で語ること / 3 復興を支える民話の力
- II 関東大震災の東京——作文の力
 - 4 関東大震災の本郷 / 5 関東大震災の本所 / 6 小学一年生が書いた関東大震災 / 7 エリートたちの関東大震災
- III 三陸大津波の釜石——記録の力
 - 8 釜石を歩いた柳田国男と佐々木喜善 / 9 残された教訓を未来へつなぐ—『地震並津浪の常識』の活用 / 10 明治三陸大津波と釜石—雑誌『風俗画報』に見る
- IV 柳田国男・宮沢賢治・井上ひさし——文学の力
 - 11 河童や幽霊は今もいるか？ / 12 宮沢賢治を食う！—「グスコブドリの伝記」など / 13 渡された「思い残し切符」—宮沢賢治と井上ひさし



ISBN978-4-8382-3404-2

絶滅したオオカミの物語

志村真幸・渡辺洋子著

A5判・カバー装 300頁 定価：本体2500円＋税

かつてイギリスとアイルランドに生息し、様々な要因で絶滅したオオカミの物語を紹介。物語だけではなく、イギリス、アイルランド、さらに博物学者南方熊楠を通して、日本をふくむ、オオカミの歴史、オオカミに対する各国の人々の心情など、オオカミと人間の関係をふりかえり、民話や小説、歴史や生態から絶滅の経緯を明らかにする。

2022/3/31発行



ISBN978-4-8382-3393-9

猿蟹合戦の源流、桃太郎の真実

—東アジアから読み解く五大昔話

斧原孝守著 46判・カバー装 250頁 定価：本体2800円＋税

日本で語り継がれる昔話はどこで誕生したのか？

「猿蟹合戦」「桃太郎」「舌切り雀」「かちかち山」「花咲か爺」に登場するキャラクターや物語の構成、話の背景を日本各地に伝わる類話や東アジアの諸民族に伝わる類話と比較。異同を明らかにして五大昔話のルーツをさぐる。

目次

- 第1章 猿と蟹はなぜ争うのか？ / 第2章 「猿蟹合戦」はどこで生まれたか？ / 第3章 「桃太郎」とキビ団子 / 第4章 「桃太郎」らしくない「桃太郎」 / 第5章 「舌切り雀」はどこから来たか？ / 第6章 爺はなぜ「舌切り雀」を追いかけるのか？ / 第7章 「かちかち山」と狸の婆汁 / 第8章 狸はなぜ、兎にだまし続けられるのか？ / 第9章 「花咲か爺」は日本生まれの昔話か？ / 第10章 「花咲か爺」の犬はどこから来たのか？

2022/6/23発行



ISBN978-4-8382-3395-3

中国神話の深層 天地の循環図 曼荼羅の世界

百田弥栄子著 A5判・カバー装・738頁 定価4500円+税

中国少数民族に脈々と伝承される神話世界。洪水神話と射日神話を軸に、様々な神話が有機的に結びつく伝承曼荼羅の構造をひもとき、根底に存在する人間の営みの本質・不変の真理へと導く。

内容案内

◆一 龍とその周辺◆

龍をめぐる神話／天女と龍女と白い鳥／龍脈をたどる馬／他

◆二 雷神と観音と山神の周辺◆

鶏身の雷神から観音への展開／雷神と観音と山神と／他

◆三 洪水神話と射日神話の周辺◆

射日・招日神話にかかる鍛冶文化の諸相／人類起源神話と洪水神話／

射日神話／中国の女神をめぐる文化—長江以南を目配りして—／

中国少数民族の創世神話／彝族系諸族の經典に見る神話の継承

◆四 神樹とその周辺◆／◆五 銅鼓とその周辺◆

◆六 蓑笠とその周辺◆／◆七 難題とその周辺◆／◆八 盤古と槃瓠の周辺◆他

2020/3/19刊行



ISBN978-4-8382-3363-2

畏怖すべき女神の源流 最果ての妖婆たち 山姥とハッグ妖精

高島葉子 著 A5版・上製・504頁 定価：本体5800円+税

日本の妖怪—山姥、フリテン諸島の妖婆—ハッグ妖精。

東と西の地の果てに顕現する超自然の妖婆たち。類似する伝承内容を精査・比較し、遠くて近い両者の実態に迫る。神話学・考古学・民俗学的視点から信仰や女神概念の伝播・影響が絡み合い変遷する過程を追う。

【目次】

第1部 「畏怖すべき女神」としての山姥とハッグ妖精

序章 山姥と魔女と妖精／第1章 山姥の多様性／第2章 ハッグ妖精の多様性／第3章 山姥とハッグ妖精の比較

第2部 山姥とハッグ妖精の伝統と系譜

序章 山の神の連続性とハッグ妖精の不連続性／

第1章 アイルランド神話伝説の中のハッグ女神

第2章 神話以前のフリテン諸島の女神／第3章 先史時代ヨーロッパの女神

第4章 巨石時代フリテン諸島の女神信仰／

第5章 日本神話の中の山の神と女神／第6章 記紀神話の神々の系譜

第7章 東北日本の山の女神／第8章 山の女神の北の系譜

第9章 アイヌの山の神と狩猟神／終章 祖型女神と社会階層化

2021/3/3刊行



ISBN978-4-8382-3377-9

桃太郎の発生 世界との比較から見る 日本の昔話、説話

花部英雄著 A5判・カバー装 326頁 定価：本体2800円+税

日本各地に歴史的事実として地名や関係物が保存・顕彰されながらその素性がはっきりしない『桃太郎』。説話や話型、素材を軸にバラエティー豊かに発生、成長する変化の姿を、日本・アジア・ヨーロッパなどの類似のストーリー展開を持つ話と比較し、世界から見た日本の昔話の特徴を素描する。

2021/4/14発売 3/31発行



ISBN978-4-8382-3382-3

I 桃太郎の内と外

「桃太郎」の発生／「鬼ヶ島」の形成／「桃太郎」の素性／「桃太郎」、世界へ行く／

「桃太郎」から見る昔話研究史

II 異類婚姻譚の国際比較

「蛇婿入」の国際比較／異類婚姻譚における殻・皮・衣とはなにか／「一寸法師」と「田螺息子」／「嫁の輿に牛」の風土性

III 昔話、説話モチーフの国際比較

昔話「葺しべ長者」の主題と形式／アジアの「猿地蔵」／イソップ寓話と「鳥獣合戦」／

「走れメロス」の説話世界／「西行発心のおこり」の内と外

中近世語り物文芸の研究

信仰・絵画・地域伝承

桑汐里 著

A5判・カバー装・416頁 定価：8800円＋税

説経・古浄瑠璃について文献による考察の枠をこえ、芸能・民俗・歴史学・美術史学の方法とフィールド調査を用い、その成立と展開を解き明かす。

2023/2/27

目次

論考篇

序章

第一部 語り物の宗教基盤

第一章 「阿弥陀胸割」と法会唱導

第二章 「大橋の中将」と日蓮宗教学

第三章 異本「常盤問答」考

第二部 語り物の絵画的展開

第四章 絵画化された説経 古浄瑠璃作品

第五章 「さんせう太夫」と『しゅつせ物語』

第六章 岩佐又兵衛風古浄瑠璃絵巻群と道行

第七章 堺市博物館寄託幸若舞曲等扇面画帖をめぐって

第三部 語り物と地域伝承

第八章 異本「堀江物語」の成立背景—塩谷氏との関わりをめぐって—

第九章 長生院小栗堂における縁起制作

第十章 「小栗判官」の絵解きをめぐって—俣野の信仰と伝承から—

資料篇

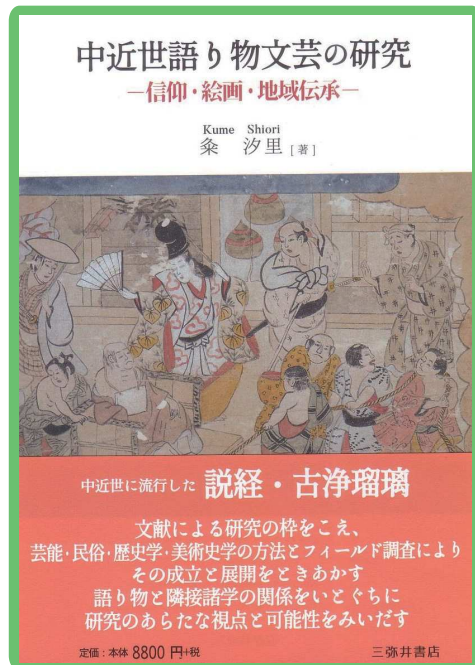
国文学研究資料館蔵「阿弥陀胸割」翻刻

国文学研究資料館蔵「大橋の中将」翻刻

広島県立文書館寄託尼子家文書蔵「常盤之前鞍馬問答」翻刻

個人蔵「しゅつせ物語」翻刻・挿絵

栃木県立図書館黒崎大吉文庫蔵「堀江記」翻刻



ISBN978-4-8382-3401-1

絵解く 戦国の芸能と絵画

描かれた語り物の世界 小林健二 編 B5判・カバー装・216頁 定価：3500円＋税

語り物芸能が絵画化し、流布する様相と文化史的意義を、国文学と美術史学の視点で解明。カラー版で紹介する。未紹介資料として、個人蔵「源義経一代記図屏風」、手銭記念館蔵「烏帽子折物語絵巻貼付屏風」を収録。

2020/3/19刊行

◆序論 描かれた語り物の世界

「源義経一代図屏風」を読む 小林健二

手銭記念館蔵烏帽子折物語絵巻貼付屏風 解題・翻刻 桑汐里

◆平家物語図扇面画帖を読む

海の見える杜美術館蔵「平家物語扇面画帖」について 鈴木彰

江戸時代前期の平家物語図扇面について 龍澤彩

◆幸若舞曲・古浄瑠璃を描く

語り物系絵巻をめぐって—附「堀江物語絵巻」断簡四枚紹介— 石川透

ベルリン国立アジア美術館蔵《烏帽子折絵巻》—分析と分類— 酒井公子

江戸前期の幸若舞曲絵巻・絵本の制作 恋田知子

風俗表現と物語絵—「むらまつ」の場合— 齋藤真麻理

◆絵師と筆者

狩野春雪による幸若舞曲絵巻制作 谷川ゆき

作品紹介 住吉如慶筆「堀川夜討絵詞絵巻」について 下原美保

賀茂別雷神社若宮祢宜西池季通の日記に見える狩野永納 海野圭介

◆付篇

幸若舞曲絵入り本一覧



ISBN978-4-8382-3364-9

吉祥院本『稲生物怪録』

怪異譚の深層への廻廊

杉本好伸著 A5判・カバー装 488頁 本体：9800円＋税

備後三次を舞台とする怪異譚。吉祥院本(三次市重要文化財)は、平田本『稲生物怪録』以前に気吹舎で作成されたと思しき作品。読みやすい本文と、本邦初の影印と注釈を提供する。虚実緋い交ぜの物語の特徴を文学・歴史・民俗・地域性などの諸方面から詳説し、挿絵には絵巻の絵を採用。

目次

- [総説] 吉祥院本『稲生物怪録』の全貌—未知なる〈原本〉を求めて
- 序章 本書の目的／第1章 物語、の基調／第2章 吉祥院本〈本文〉の成立過程／
第3章 〈初期系柏本〉との相違／第4章 東大本の竹能「跋」と篤胤「序」／
第5章 物語、内部への介入／第6章 物語、の作品構成
第7章 物語、中の〈実在人物〉／第8章 作品の〈特徴〉
第9章 〈魔王〉対〈人間〉 どちらに力、があるのか／第10章 三次と〈疫神〉
第11章 〈柏本〉系作品と陰陽道的要素／
第12章 〈吉祥院本〉に関する基礎的諸事項について／終章 これからの課題

あらすじ

吉祥院本『稲生物怪録』本文・注釈・影印

凡例／翻刻本文／影印

2022/7/4発行



ISBN978-4-8382-3391-5

曲亭馬琴『兎園小説』の真偽

うつろ舟の蛮女と
大酒大食の会

佐藤秀樹 著 46版・並製・232頁 定価：本体2700円＋税

兎園小説の中で議論がなされた2話を取りあげ真偽に迫り、63の超常現象、怪談断、風聞、忠義話、孝行話を現代語訳で紹介する。

- 第1章 兎園小説とは／第2章 うつろ舟の蛮女／第3章 金色姫伝説と「うつろ舟の蛮女」／
第4章 うつろ舟の異形文字と蛮女／第5章 「兎園小説」とかわら版刷物／第6章 大酒大食の会
附「筆のすさび」・「耳囊」・「三養雑記」、「天保二年の大食会」／
第7章 兎園小説の真偽・結び／付録 兎園小説(抄)

2022/6/17発行



ISBN978-4-8382-3397-7

千住の酒合戦と後水鳥記

佐藤秀樹 著 46版・並製・232頁 定価：本体2700円＋税

- 第1章 千住の酒合戦とは／第2章 水鳥記から後水鳥記へ／第3章 文化十二年の酒合戦を読み解く
第4章 亀田鵬斎「高陽鬪飲序」を読み解く／第5章 鯉隠居と謝肇制「五雑組」のかかわり
第6章 後水鳥記の草稿と鬪飲図巻を見くらべる／第7章 一枚刷り鬪飲図と酒戦会番付
第8章 小山田与清「擁書漫筆」にみる千住の酒合戦／第9章 文化十四年の書画会での飲みくらべ
第10章 摺物「弥勒布袋図」と「仏説摩訶酒仏妙楽經」を読む／第11章 二つの鬪飲図巻の成立

2021/1/22発行



ISBN978-4-8382-3379-3

近刊 (5月26日頃出来)

御予約受付中

日本近世文学史

鈴木健一著

A5判・カバー装 446頁 本体：5800円＋税

詩歌史と古典学を中心として、小説史・演劇史もふくめ、作品の魅力と時代区分にこだわり、より柔軟に近世文学をとらえる。

安居院の研究 能説の系譜と水系の信仰

清水眞澄著 A5判・上製本・カバー装 568頁 定価：本体10000円＋税

日本中世の説教僧に、能説と称えられる一流があった。その興亡の歴史は、人と水系の信仰史に重なる。本書は、彼らの拠点であった安居院の組織、所領の検討から福祉救済の場、悲田院に及び、中世研究に新たな視座を拓く。

目次

- | | |
|--|---|
| <p>I 水系の信仰—安居院流唱導の誕生</p> <p>序章 安居院流の始原</p> <p>第一章 宗像信仰と高階氏</p> <p>第二章 信西の時代</p> <p>第三章 院家としての安居院</p> <p>第四章 初世澄憲の時代</p> <p>終章 澄憲の周縁</p> <p>II 救いへの希求—安居院流唱導の展開</p> <p>序章 聖覚と桜下門跡領</p> <p>第一章 「安居院相伝目録」の世界</p> <p>第二章 安居院流と大原</p> <p>第三章 二世聖覚の時代</p> <p>第四章 安居院流と東国</p> <p>終章 聖覚と信西一門</p> | <p>III 院家と救済—安居院流唱導の興亡</p> <p>序章 安居院流の系譜</p> <p>第一章 安居院の使命</p> <p>第二章 安居院悲田院</p> <p>第三章 安居院流の転換</p> <p>第四章 安居院の変容</p> <p>第五章 安居院の終焉</p> <p>終章 その後の安居院</p> |
|--|---|

2022/2/15



ISBN978-4-8382-3390-8

英雄伝承の誕生 蒙古襲来の時代

福田 晃著 A5判・上製本・カバー装 498頁 定価：本体7500円＋税

中世期の本地垂迹思想から、文永・弘安の蒙古襲来を契機に反本地垂迹思想へと変貌し、神国日本の思潮の幕開けとなる。日本独自の民俗思潮が生み出した英雄像を追う。民俗的イデオロギーを明らかにする伝承歴史学という試み。

目次

- 序—蒙古襲来と英雄伝承
- 第1編 「百合若大臣」の誕生—宇佐八幡の鷹と鍛冶
- 第1章 日本の「百合若大臣」—幸若・説経・古浄瑠璃 / 第2章 「百合若大臣」の原拠を尋ねる
- 第3章 「百合若説経」（壱岐・対馬）の伝承世界 /
- 第4章 「百合若説経」と幸若・説経・古浄瑠璃 / 結章 「百合若大臣」の生成
- 第2編 日本の英雄伝承
- 第1章 日本の語り物文芸—英雄叙事詩をめくって /
- 第2章 「百合若大臣」「甲賀三郎」の伝承世界
- 第3章 英雄伝承としての「田村三代」—馬飼文化と観音信仰
- 第3篇 聖徳太子の変貌
- 第1章 聖徳太子の兵法—文保本系「太子伝」をめくって /
- 第2章 聖徳太子流兵法の行方—「油日大明神縁起」をめくって
- 資料編 山口文庫「百合若大臣殿」（長崎歴史文化博物館蔵）

2021/11/26



ISBN978-4-8382-3388-5

福田晃先生関連書

- 神道集説話の成立【在庫僅少】18000円 / ■曾我物語の成立 16000円
- りの誕生—折口学の深化をめざす 9800円 / ■昔話から御伽草子へ—室町物語と民間伝承 5500円
- 安居院作『神道集』の成立 8500円 / ■放鷹文化と社寺縁起 8500円
- 甲賀忍者軍団と真田幸村の原像 1700円 / ■唱導文学研究第1～12集 完結 各7670～8500円
- 鉄文化を拓く 炭焼長者 4500円 ■鷹と鍛冶の文化を拓く 百合若大臣 4500円
- 英雄叙事詩 アイヌ・日本からユーラシアへ 3500円 / ■神楽の中世 宗教伝承の地平へ 6800円他多数

